

# csvtable Manual

qwjyh

---

---

## 目次

---

---

1. 概要 .....	1
2. 使い方 .....	1
2.1. 体裁に関するオプション引数 .....	2
2.2. CSV のパースに関するオプション引数 .....	3
2.3. CSV パース時の実行時エラー .....	3

---

---

## 1. 概要

---

---

外部の CSV ファイルを読み込んで SATySF<sub>I</sub> 上の表に埋め込みます。CSV パッケージおよび Easytable パッケージを使用しており、オプションとして Easytable のインターフェースを用いたスタイルを適用したり、CSV の区切り文字を変更したりすることができます。

---

---

## 2. 使い方

---

---

```
\csvtable(`file.csv`);
```

```
+csvtable(`file.csv`);
```

で CSV ファイルを読み込み、インラインテキスト中およびブロックテキスト中に表を埋め込みます。デフォルトでは CSV ファイルの列数の最大値で折り返し、値はそれぞれのセルに右揃えで配置されます。列が足りない場合は空白のセルで埋められます。

```
\csvtable(`sample1.csv`);
```

Alpha	Beta	Gamma
1	2	3
2	3	1
3	1	2

## 2.1. 体裁に関するオプション引数

オプション引数として、第一引数に Easytable の `ruleptn` のリスト、及び第二引数に `cellfmt` のリストを与えることで、Easytable と同様、中央揃えや左揃えにしたり幅を指定することができます。その際、プレアンブルに `open EasyTableAlias` と記述することで簡潔なコードにすることができます。適宜 `?*` を用いて省略を明示してください。また、引数の詳細は Easytable のドキュメントを参照してください。

```
\csvtable?*?:[l;c;r](`./sample2.csv`);
```

header1	header2	header3
left	center	right
1	2	3

```
+csvtable?:[t; b; m 1; v 0; v 1]
?:[lw 120pt; c; r; r](`./source/sample3.csv`);
```

header1	header2	header3	header4
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.	short cell		empty
	a		

## 2.2. CSV のパースに関するオプション引数

第三引数に `string` を渡すことによって、CSV の区切り文字を指定することが出来ます (デフォルトは `,` です)。

```
+csvtable?:[rect]?*?:(`:`)(`./source/sample4.csv`);
```

1	2	3	4	5	6
4	5	6	7	8	
10	11	14	15		
20			20		

## 2.3. CSV パース時の実行時エラー

予期しない文字が出現した場合や予期しない文字の終了があった場合に実行時エラーが出る可能性があります。予期しない文字が出現した場合には

```
CSV parser error with char: p at 3, 1
```

のように、予期しない文字そのものとその文字のあった行番号、行における位置をメッセージに表示します。

また、予期しない文字の終了があった場合は

```
CSV parser error (EOI)
```

と出力します。